



区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当
1-1	カリキュラム・講義・研究等	<p>授業形態（対面/オンライン）について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業になってから課題が多すぎる</li> <li>・オンライン授業により、頭痛を引き起こしたり、気持ちが不安定になった</li> <li>・オンライン授業と対面授業を並行で行わないでほしい。どちらかに統一してほしい。</li> <li>・オンラインか対面か選択できるようにしてほしい</li> <li>・対面授業を増やしてほしい</li> <li>・オンライン授業を継続してほしい</li> <li>・授業はオンラインなのに、テストが対面なのが納得できない</li> <li>・オンライン授業の質を改善してほしい</li> <li>・オンライン授業に慣れていない先生が多く、不満がある</li> <li>・オンライン授業だったが、質は高く問題なかった</li> <li>・オンライン授業の講義スタイル（Bb9, Teams, Zoomなど）を統一してほしい</li> </ul>	<p><b>【理学系支援室（先端）】</b> 大学の実施方針に従い、学生の状況を考慮し学生の不利益とならないよう対応している。</p> <p><b>【医学部】</b> オンライン講義については、感染状況等に応じてハイブリッドを含めた対応をしています。オンデマンド講義も復習などに活用してください。オンライン講義と対面の試験など移動が難しいものについても講義室の利用などできますので周知を徹底したいと思います。複数の教室の利用などで試験とディスカッションの学生の混在は防げればと思います。臨床実習についても学生および患者さんの安全を鑑みて、感染状況やワクチンの接種状況をみながら、順次病院実習や学外実習を増やしていく予定です。</p> <p><b>【歯学部】</b> 授業や期末試験の形態については全学の方針を尊重し、各教員が適切だと思う方法を選んで実施した。</p> <p><b>【薬学部】</b> 広島大学の行動指針のレベルや教育本部教務委員会の方針に合わせて、原則として対面で実施しています（レベル1.5以下の場合）。レベル2以上の場合は原則としてオンラインで実施していますが、「実技を伴う実験・実習など、対面でないと教育効果が得られない授業」については、学部長・研究科長等の判断により、対面で実施しています。</p> <p><b>【工学部】</b> カリキュラム等に関する意見については、工学部教務委員会で共有し、必要に応じて検討します。</p> <p><b>【生物生産学部】</b> 令和2年度後期からは1年生の授業や実験・実習に関しては原則として対面としていますが、講義室の収容人数の半数以下とする全学の方針があるため全授業を対面とすることができませんでした。そのため、講義系科目は1年生対象の専門基礎科目は対面とオンデマンドのハイブリッドとし、2-3年生対象の専門科目はオンデマンドとしました。講義室の不足は今年度も同様に問題となっているため、この方針は現在も継続中です。ただし、実験・実習に関しては今年度は原則対面とすることとしています。</p> <p><b>【統合生命科学研究科】</b> 統合生命科学研究科では、オンライン等で授業を実施することを基本としています。</p> <p><b>【医系科学研究科】</b> 対面授業の拡大については、本学の方針及び研究科内の委員会等で今後検討を行いたい。ソフトウェアプログラムの実装については、研究科のみでの判断が難しいため、全学としての検討をお願いしたい。</p>	関係学部・研究科等支援室
3-1	課外活動関係	<p>新型コロナウイルス感染症の影響による課外活動の制限について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サークル活動を再開してほしい</li> <li>・規制や再開の基準が厳しすぎる</li> </ul>	<p>本学では、学生の皆さんが新型コロナウイルス感染症に罹患しないように、そして感染源とならないように、いろいろな対策に努めています。</p> <p>国内の感染状況等を考慮し、本学の課外活動は制限又は中止することが決定されます。</p> <p>6月21日から課外活動を限定再開し、感染防止策を含む活動計画等をあらかじめ届け出て許可を得たものについて、限定的に実施しています。</p> <p>この対応については、今後の感染の広がり等を考慮しながら、適宜、延長や見直しを行います。</p> <p>広島大学の行動指針は6月18日にレベル2の見直しを行い、「全面活動禁止」から「感染防止策を含む活動計画等をあらかじめ届け出て許可を得た必要最小限の活動（全国大会へ繋がる予選等）について実施」に改訂されました。</p>	学生生活支援G(学活)

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当
6-1	就職・進学	<p>就職活動支援・進学に関する情報提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職サポートを十分に利用しきれなかった</li> <li>・授業のため、セミナーに出席できなかった。開催曜日を変動的にしてほしい</li> <li>・学科内の進路支援を充実してほしい</li> <li>・卒後の研修先やマッチングの流れなどについて説明会が欲しい</li> <li>・関東圏に関する情報が欲しい</li> <li>・留学生の就職についてもっと情報欲しい</li> <li>・大学院生向けの就職支援が少ない</li> </ul>	<p>グローバルキャリアデザインセンターでは、以下方法により、ガイダンス情報・企業説明会情報・インターンシップ情報等の広報を行っています。</p> <p>①Myもみじ掲示板（「進路・就職掲示」カテゴリー）に掲載  ②グローバルキャリアデザインセンターHPに掲載（<a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc</a>）  ③「キャリアタスUC」に掲載（<a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/kyujin">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/student/kyujin</a>）</p> <p>就活のサポートを十分に利用し切ることができなかつたというご意見がありましたが、就活に関する情報が皆さんに十分に伝わっていないことも原因の1つと考えられます。今後も、ホームページの充実等、より一層情報発信の強化に努めます。一方で、就活は自分自身の情報収集力が大切ですので、自分に必要な情報を自分で収集する力を養っていただきたいと考えています。自身の希望の進路実現のため、ガイダンス・セミナー等に積極的に参加してください。</p> <p>また、センターでは、毎年「就活ハンドブック」を作成し、無料で配布しています。「就活ハンドブック」には、「最近の就職環境」として、COVID-19による環境変化、早期化する採用活動等について掲載しています。その他、自己分析のページ、業界研究のページもあります。各学生支援室及びグローバルキャリアデザインセンター（学生プラザ2F）で入手することができます。</p> <p>より早い段階で就活に関する情報提供が欲しいというご意見がありました。就活が早期化する傾向にあり、センターでは、2020年度に初めて学部2年生の就職情報冊子を作成・配付するとともに、2年生向け就職セミナーを3回開催しました。さらに、2021年度は、学生ニーズに対応し、例年10月～11月頃に開催していたガイダンスを4月～5月頃と早い時期での開催に変更しました。</p> <p>企業のOBOG情報について、センターでは、2020年度に「広島大学就活OBOG取材」というサイトを立ち上げました。OB・OG訪問可・不可も明示してありますので、OB・OG訪問を考えている方は、ぜひ活用してください。（URL：<a href="https://shushoku.js88.com/hp/obog/hiroshima/index.html">https://shushoku.js88.com/hp/obog/hiroshima/index.html</a>）さらに、東京オフィスで、関東に就職したOBOG情報リストを公開しています。Myもみじ「進路・就職掲示」で詳しく掲載していますので、こちらもぜひ活用してください。</p> <p>センターでは、個別のキャリア相談を月～金曜日に行っています。自分の将来・就職・目標について不安がある、いつから就職活動について考えればよいのか分からない、公務員試験・教員採用試験・民間就職・進学等の進路に迷っており、スケジュールをどのように進めたらよいかわからないという場合も、ぜひ早い段階でキャリア相談を活用してください。大学院生のキャリア相談も行っていますし、英語での相談が可能な相談員もいます。2020年春からオンラインで行っており、どのキャンパスの学生も同じように利用することができます。</p> <p>留学生の就職についてより多くの情報を得たいというご意見がありました。センターでは、「留学生の皆さんへ（For International Students）」という留学生向けの情報をまとめたページを作成しています。「就職活動を始めるにあたって/Tips to Start Job Hunting」や「ガイダンス・セミナー情報/Guidance Sessions and Seminar Information」を掲載しています。グローバルキャリアデザインセンターHP&gt;留学生の皆さんへ（For International Students）  <a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/en/ForInternationalStudents">https://www.hiroshima-u.ac.jp/gcdc/en/ForInternationalStudents</a></p>	キャリア支援G
			<p>【総合科学系支援室】  総合科学部独自の就職支援事業として、インターンシップ対策講座、エントリーシート対策講座、就職活動体験報告会などのセミナーを年間10回程度開催しており、その都度、Myもみじ掲示板にてお知らせしております。</p> <p>【教育学系総括支援室】  グローバルキャリアデザインセンターの利用を促すほか、学生支援室隣に就職情報資料室（<a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/career/syusyokusien">https://www.hiroshima-u.ac.jp/ed/career/syusyokusien</a>）を設置し、学生の就職活動を支援しています。教員採用試験担当の専任教員および一般企業・公務員試験担当の相談員をそれぞれ配置し、就職に関する学生の様々な悩み事や質問に応じたり、各種ガイダンスを開催しています。さらに、教員採用試験、公務員試験、一般企業の求人情報などを自由に閲覧・貸出ができるようにしていますので、ぜひご利用ください。</p>	関係学部・研究科等支援室

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当
6-1	就職・進学	<p>就職活動支援・進学に関する情報提供について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職サポートを十分に利用しきれなかった</li> <li>・授業のため、セミナーに出席できなかった。開催曜日を変動的にしてほしい</li> <li>・学科内の進路支援を充実してほしい</li> <li>・卒後の研修先やマッチングの流れなどについて説明会が欲しい</li> <li>・関東圏に関する情報が欲しい</li> <li>・留学生の就職についてもっと情報欲しい</li> <li>・大学院生向けの就職支援が少ない</li> </ul>	<p><b>【人文社会科学系支援室（法経）】</b>            キャリア支援の取り組みとして、法学部及び経済学部(法学・政治学プログラム及び経済学プログラム)では、人材広告企業の協力を得てキャリア支援講座を開講しており、内容や対象、及び時期を予め年間開催スケジュールで広報のうえ、講座毎にも周知を行い、適性試験、自己分析・PR、インターンシップ等の情報発信を行っています。</p> <p><b>【理学系支援室】</b>            理学部では、就職支援コーナーを設置し、資料を配架して学生への情報提供に努めている。また、キャリアサポートガイダンスにも参画し、学生への情報提供を行っている。進学については、学部長を中心として大学院への進学を進める体制を整えることを学部のミッションとして保護者懇談会等でも案内をしており、大学院への進学率も多い。</p> <p><b>【理学系支援室（先端）】</b>            研究棟内の掲示板や「もみじ掲示板」等により対象学生に周知している。</p> <p><b>【医学部】</b>            保健学科では、病院、施設などに参加していただき、オンラインで就職説明会を専攻毎に実施した。</p> <p><b>【歯学部】</b>            (歯学科) 教員が広大病院でのマッチングのシステムを説明する場を設けた。            (口腔保健学専攻) 3年前期に就職活動のガイダンスを実施した。また、教員が、ネット検索により得た求人情報を学生へ連絡している。面接練習を行い就職活動を支援している。            (口腔工学専攻) 就職に関する情報を自由に閲覧できるようにした。また、就職活動について説明する場を設けることを検討した。</p> <p><b>【薬学部】</b>            企業等から送付された就職情報は、薬学部研究棟2階掲示板、および、PDF化してもみじに掲示し情報提供しています。就職に限らず、指導教員や学生支援が相談に乗っています。また、民間企業やリクルート企業の協力により、薬学部キャリアセミナーを実施し、情報提供と就職相談の場を設けています。</p> <p><b>【生物生産学部】</b>            昨年度も対面での制限がしていない期間については、学部主催の企業説明会等を対面で実施していましたので、今後も可能な限り実施することとします。状況によって対面が難しい場合はオンラインでの説明会も実施するなど、積極的に情報提供していく方針です。</p> <p><b>【統合生命科学研究科】</b>            就職活動支援についてはプログラム担当支援室からMyもみじを通じて情報提供しています。進学に関する情報は研究科HPに掲載しています。</p> <p><b>【医系科学研究科】</b>            霞キャンパス就職キャリア相談の日程を「もみじ掲示板」より個人あてに通知を行っている。(基本毎月1回)            また、学生向けの説明会(薬学系、保健学科系)については、大学院生も参加できるため、開催日についても通知している。</p>	関係学部・研究科等支援室
7-1	学費	<p>オンライン授業に対する授業料の減額要望</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン授業により、施設等を使用していない</li> <li>・オンライン授業だと、電波により満足に授業を受けられないことがある</li> <li>・オンライン授業は、対面授業と同等の質を保っていないと思う</li> </ul>	<p>授業料は、学位授与を見据えてそれまでの期間の総合的な教育環境を提供するための経費であり、オンライン授業の実施による値下げについては、現在のところ検討しておりません。</p> <p>また、高等教育修学支援制度や本学独自の給付型奨学制度等に加え、2020年4月からコロナによる家計急変への経済支援として本学独自の応急学生支援金制度を開始し、現在も継続して実施していますので、希望される方は「もみじ」を参照してください。</p> <p>広島県の「緊急事態宣言」が解除された6月20日以降、本学では原則対面授業を実施していますが、オンライン授業のみで実施する必要がある場合は、対面授業に相当する教育効果を有するものになるよう教員に依頼をしており、オンライン授業の実施方法や内容の充実に引き続き努めていきます。</p>	教育推進G

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当
7-2	経済支援関係	<p>「学びの継続」のための「学生支援緊急給付金」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給付金をもらえる人ともらえない人との差が何なのかを知りたい</li> <li>・本当にお金に困っている人のところに支援が届く体制にしてほしい</li> </ul> <p>大学院生に対する経済支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院生に対する経済支援が少ない</li> <li>・大学院生に対する経済支援について、もっと周知してほしい</li> </ul>	<p>1.「学生支援緊急給付金」について</p> <p>日本学生支援機構からの通知に基づき、支援の対象となる学生へ支援の周知を行い、LINEでの申請も可能とするなど、申請する学生の利便性に配慮した対応を心掛けました。</p> <p>2.大学院生に対する経済支援について</p> <p>自由記述には、「大学院生に進学する際の奨学金の情報をもっと学生に周知した方が良い」「もっと(情報を)紹介してほしい」「エクセレントスチューデントスカラシップの基準を知らないうちに選ばれていた」等、経済支援制度の周知不足に関する内容のものがありました。</p> <p>現在の周知方法は、もみじトップページ→学生生活のサポート→経済支援のページの中に広島大学の経済支援制度を全て掲載して周知を図っております。</p> <p>今回上記のようなご意見を踏まえて、広島大学公式アカウントのSNSを使用した周知方法の拡大を検討しましたが、大学としては、SNSは学外向けで、学内の学生に対してはもみじという区分けを行っているため、広島大学公式アカウントのSNSに経済支援の情報を掲載することは適切でないと判断いたしました。</p> <p>今後も周知方法の拡大を検討して参りたいと存じます。</p> <p>また、エクセレントスチューデントスカラシップの基準を含めた周知についてですが、本制度は、大学院生の後期分授業料免除を伴うものですが、本来の目的は、成績優秀学生を表彰する制度であるため、現在掲載しているもみじの経済支援のページ以外の大学のサイトにもリンクさせることを検討しており、より多くの学生の方等に知っていただけるよう、工夫して参ります。</p>	学生生活支援G(経済)

## 2. その他対応・検討案件

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当
1-1	カリキュラム・講義・研究等	現在の履修状況、必要単位数に到達しているかを見る手段がなく、自分でカウントするしかない。単位の取り方が複雑すぎる。もっとわかりやすく簡潔な制度にしてほしい。	4年次前期終了時に支援室で卒業予定者の単位修得状況を確認し、不足単位が生じている学生には個別に連絡しております。学生自身がMyもみじの成績情報等と照らし合わせて卒業要件単位を確認できるよう、「修得単位確認表」を作成し、ガイダンスやMyもみじ掲示板により配付しております。まずは、学生自身で確認し、不明な点や不安な点がある場合は、支援室で相談に応じております。	総合科学系支援室
1-2	もみじ	Myもみじで卒業要件単位の確認と計算ができるようになってほしい。	Myもみじの「単位修得状況確認」機能は、システムの設計上、設定が困難であるため、学生自身がMyもみじの成績情報等と照らし合わせて卒業要件単位を確認できるよう、「修得単位確認表」を作成し、ガイダンスやMyもみじにより配付しております。まずは、学生自身で確認し、不明な点や不安な点がある場合は、支援室で相談に応じております。	総合科学系支援室
4.	施設・設備に関すること	トイレ設備の改善(改修・洋式化等) 施設・設備(トイレを除く)の改善要望 駐輪場の整備	<p>部局等から施設の改善要望があった場合や施設パトロールで不具合等が見受けられた場合は、緊急性や重要度等を指標とする点数化を行い、優先度の高い事業から実施する等、限られた予算の中で施設の改善や維持管理等を効率的・効果的に進めているところです。</p> <p>また、施設の改善(トイレの改善及び駐輪場の整備含む)については、施設の整備方針や中長期計画等を定めた「広島大学キャンパスマスタープラン」や「広島大学インフラ長寿命化計画」で検討しており、今後は同プランに基づいて計画的に改善していく方針としています。なお、老朽化した施設については、全面的な改修(もしくは改築)を行うための概算要求を計画的に行っており、事業化された建物から順にリニューアルを行っているところです。</p>	施設企画G
4-2 4-3	課外活動施設・共通施設 図書館	コロナ禍のため、施設の開館時間が減ってしまった。	情報メディア教育研究センターの施設利用時間、窓口業務体制については、「新型コロナウイルス感染症に対する本学の方針」及び「授業等の実施に関する方針」に沿って対応をしております。今後も本学の方針に沿って、必要に応じて見直し等を行います。ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。	情報化推進G

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当
4-3	図書館	利用時間を延ばしてほしい。	図書館の開館時間の延長希望につきましては、コロナ後の状況により総合的に判断させていただきます。	図書館
		新規図書の購入及び蔵書の管理について	文献の加増については、図書購入希望や他機関からの取り寄せサービスを是非ご利用ください。ただ、図書の購入希望については、特定の方や資料に偏らないよう、また、できるだけ多くの方に利用していただけるように予算を調整しておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。 蔵書の管理については、定例整理日等により正しい場所に資料が配置されるよう作業を行っています。それでも大勢の方が利用されることもあり、資料が別の場所から発見されることもあるようです。気を付けて管理するようにしていますが、あるはずのものが見つからない場合は職員が探しますのでカウンターにお知らせいただくようお願いいたします。	
		広島大学図書館がアクセス可能な研究ジャーナルを増やしてほしい。 ジャパンナレッジのアクセス可能枠を増やしてほしい。	電子ジャーナルについては、価格が毎年上昇しており、限られた予算の中で有料の研究ジャーナルを増やすのは難しいです。学術機関リポジトリやオープンアクセス・ジャーナルのように無料で論文を公開しているジャーナルは毎年増えていますので、これらを活用することもご検討ください。 なお、ジャパンナレッジについては、2020年度途中で同時アクセス数を臨時で2から4に増加させ、2021年度よりアクセス可能数を正式に4に増やしました。	
		環境面について (コンセントの増設、スキャナーの増設、冬場の加湿など)	コンセント増設については検討しておりますが、閲覧席はコンクリート床であるため、配線ケーブルがむき出しになったり、それを保護するためのモールを設置した場合、床が凸凹になりバリアフリーの観点からは困難な状況となっております。 スキャナーについては、情報メディア教育研究センターでの利用を想定したものであり、著作権の問題もありますので今後図書館に設置することは困難です。 端末がある部屋以外については、ペットボトル等の蓋つきで倒してもこぼれない容器であれば、持ち込んで水分補給しても構いません。	
4-5	学生宿舍等	入居可能年数を延長してほしい。	入居出願者のうちから選考に漏れる人をなるべく少なくするためには、(なるべく多くの新入居希望者に入居してもらうためには)現在の入居出願者数からすると入居期間を4年間とすることは難しい状況です。 現在の入居可能期間は約2年間ですが、宿舍の運営に積極的に協力してくれる学生は入居期間が延長され3年目、4年目と入居期間を延長できる可能性もあります。	学生生活支援G(学活)
		住環境を改善してほしい(カビ、換気機能、エアコンや照明器具の不調など)。	まずはお気軽に宿舍管理事務室、または学生プラザ3階学生生活支援グループへご相談ください。 エアコンのルーバーの部品は既に廃盤となっておりますので、こちらで修理可能なものは修理を行っています。照明についても、取り換えが必要なものはLED照明と交換を行っています。 カビ等については、建物自体が経年劣化しており、1部屋のみ行えばよいというものではないため、建物全体で考慮し、今後予算要求を行っていく予定です。	
		有料洗濯機の利用料を減額してほしい。	令和3年4月から洗濯室運営業者変更に伴い、毎月2,000円をいただく料金体系に変更し、乾燥機も含め使用回数制限を無くすとともに、洗濯機・乾燥機を全台一新しました。 比較的洗濯をする回数が多い方と推察しますので、令和3年3月以前と比べて割安になると思います。  (参考)池の上学生宿舍の各階にある洗濯機・乾燥機の運営は外部業者が行っており、皆さんから徴収している洗濯機等利用料金は以下の費用に充てられています。 (主なもの) ・外部業者が負担している洗濯機乾燥機利用にかかる電気料金と水道料金 ・外部業者が行う洗濯機乾燥機の定期メンテナンス。 ・外部業者が行う洗濯室の清掃。 ・洗濯機乾燥機故障時の交換費用	

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当
4-7.	駐車場・駐輪場関係	駐輪場の拡張、整備（理学部、工学部、学生会館、東福利会館、図書館周辺等）	駐輪場については、新設や拡張が難しいため、現在利用可能な駐輪場を最大限活用できる方法を検討し、対応を行っています。 毎年実施している放置自転車の撤去作業では、利用可能な駐輪スペースを広げることができ、卒業生・修了生を対象とした不用自転車の無料回収では、駐輪スペースを圧迫する放置自転車予備軍の発生を抑制しています。さらに、2020年度入学生から導入した自転車登録制度により、的確な駐輪マナーの指導を可能とし、駐輪場が整理整頓されることで、収容可能台数により近い台数の自転車等が置ける環境になることが期待されています。 引き続き、不用自転車の無料回収、駐輪マナーの順守にご協力をお願いします。	学生生活支援G(学活)
4-9	情報環境	Wi-Fiがつながりにくい、電波が届かないところがある。	Wi-Fiは原則として利用者が多く集まる共有スペースを中心に整備を行っており、現在、すべての講義室にWi-Fi設置を完了しております。 電波強度の調整や設置場所の変更等については、引き続きご意見やご要望を参考に随時行います。 なお、利用者が限られる研究室等については「無線LANアクセスポイント設置ガイドライン（平成24年11月15日策定）」（ <a href="https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/aboutus/stipulation/">https://www.media.hiroshima-u.ac.jp/aboutus/stipulation/</a> ）を参考に個別の設置をお願いしております。	情報化推進G
		オンライン授業の実施に不慣れた教員へのサポート体制を強化してほしい。	オンライン学習支援システムサポートサイト( <a href="http://support.vle.hiroshima-u.ac.jp/">http://support.vle.hiroshima-u.ac.jp/</a> )にBb9の利用方法について掲載しています。また、Bb9上に「遠隔授業関連情報」のコースを全教職員及び学生向けに提供しており、過去の教員向け講習会の資料・動画や掲示板でのQA対応も行っています。今後も周知等を行います。	
		大学構内の情報インフラの整備、大学内の電子化・IT化を促進してほしい。	令和2年9月には電子計算機システム、令和3年4月にはキャンパス情報ネットワークシステムの更新を行っており、大学構内の情報インフラについて、必要に応じて整備を進めております。令和3年度はオンライン授業・ハイブリッド授業に対応する環境・施設の整備について進めていく予定です。	
		IT機器の利用に適した教室設備の改善、オンライン授業を実施する際のサポート体制の強化をしてほしい。	平成30年～令和2年にかけて、教育用情報端末の更新を行いました。現在の端末室に設置されているディスプレイに持ち込みPCを接続し、セカンドディスプレイとして利用できる仕様になっています。 また、情報メディア教育研究センターでは本館及び各分室での職員によるサポートだけでなく、学生スタッフによるオンライン相談窓口を設けておりますので、お気軽にお問い合わせください。	
5-1	食堂	メニューを増やしてほしい	生協食堂のメニューは、1000メニュー以上あり、毎月毎月のフェアやおすすめメニューを展開しながら、週替わりで約80アイテムを提供しております。主菜、副菜、麺類、丼類、デザート類を用意していますので、色々なメニューを召し上がって頂けると、楽しくなると 생각합니다。	学生生活支援G(学活) 広島大学生協
		ハラールメニューを増やしてほしい	We completely agree with you that halal menu must be enriched, but it is difficult to implement in all cafeterias due to utensils and cooking equipment limitations, and the fact that it is still difficult to purchase raw materials (few items and high prices). We would like to give priority start from University hall cafeteria. We appreciate your understanding of our situation. ハラールメニューを充実させる必要があります。施設の制約により、全ての食堂での導入が難しい場合があり、原材料の購入が難しい(数種類、高価)かもしれませんが、取り組みを優先したいと考えています。	
		営業時間・営業日を拡充してほしい	営業時間については、コロナ禍で利用が減少している関係で短縮せざるを得ない状況になっています。ご利用が回復すれば営業時間も改めて見直すこととなります。 We apologize for any inconvenience caused by the shortened business hours. The campus is large and the population around each store varies greatly, so it is currently difficult to set uniform opening hours all coop shop.	

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当
5-1	食堂	値段を安くしてほしい	<p>生協食堂では「カフェテリア方式（予め並べているメニューを利用者が好きな分選んだり、カウンター越しに好きなメニューをよそってもらい、最後にレジで精算する方法）」を採用しています。ついあれもこれも、と選んでいると、思った以上の金額になることがあります。</p> <p>しかし、大学生協では単なる高い安いだけではなく、「安心・安全・健康・毎日の食事」ということを考え、豊富なメニューを揃えています。ここ数年、食材原価や人件費（最低賃金）、物流費の高騰などによって、メニュー価格が少し上がっていることも事実です。We think the price of the product is within the general market price range and the balance between the cafeteria's menu and prices will vary depending on the ingredients used, etc. We appreciate your understanding of our situation.</p> <p>我々としても、学生のみなさまが購入しやすい価格帯にできるよう、店舗の運営努力、経営努力を行いつつ、適切な粗利を頂き、赤字にならないよう生協全体の経営を行って参ります。</p>	学生生活支援G(学活) 広島大学生協
		<p>サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミールカードで買えるものを増やしてほしい</li> <li>・売店に英語が話せるスタッフいない</li> <li>・退去時のサポートが欲しい</li> <li>・北2コープショップに現金が使用できるレジを置いてほしい</li> </ul>	<p>ミールカードは、財布からお金がなくなることを気にするばかりで、そもそも食事を摂らない（＝欠食）学生やお菓子でお腹を満たす学生に対して、「保護者のちゃんにご飯を食べてほしい」と「生協側の健康的な大学生活を送って欲しい、そのためには食事から」という2つの思いから生まれたものです。そのため、食堂での利用や食堂で製造した内製弁当に利用を限定しています。また、現在は一時中断していますが、ミールカードユーザー限定で、アプリからの事前予約により、生協弁当などを決まった場所（池の上学生宿舎・寺家地区）で受け取れるというデリバリーサービスを実施していました。要望が多ければ、再開を含めて検討いたします。</p> <p>生協に英語で話せるスタッフはいないわけではありませんが、少ないのも事実です。どこにいけば英語で話せるスタッフがいるかわかりやすくしていきます。Actually, we have few English-speaking staff. We will make it easier for you to find out where you can find English speaking staff.</p> <p>退去時サービスとして、現在、生協として対応しているのは、冷蔵庫・洗濯機の処分を承っています。一度業者と交渉したこともありましたが、退去される方の件数的に難しく断念しています。</p> <p>北2コープショップについて、現在は少人数での店舗運営をして出来る限りコストを抑える為に、セルフレジのみで運用しております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まれば、通常の営業に戻っていきます。</p>	
5-3	福利厚生関係	<p>自動販売機について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マイプルが使用できる自販機を増やしてほしい</li> <li>・自動販売機に食品を置いてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイプルで支払い可能な自動販売機の増設</li> </ul> <p>生協が管理する自販機は各生協店舗前のみとなっており、勝手に増やすことはできません。ご理解ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機に食品を設置出来るか分かりませんがどこにどういったものがあればいいかリクエストをお待ちしています。</li> </ul>	学生生活支援G(学活) 広島大学生協
		24時間営業の売店又はコンビニが学内にほしい。	生協としては、24時間営業の店舗の実現を前向きに検討していきますが、クリアしなければならない課題がいくつかあります。	
8-2	規範・マナー・モラル等	ソーシャルメディアの使い方について指導したほうがいい。	<p>本学では、すべての構成員を対象とした「広島大学構成員におけるソーシャルメディアガイドライン（平成25年9月5日施行）」が定められております（<a href="https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/sns/smguide">https://www.hiroshima-u.ac.jp/koho_press/sns/smguide</a>）。</p> <p>情報メディア教育研究センターでは、大学教育入門（教養教育）、アカウント年度更新、情報セキュリティ・コンプライアンス教育等において、本学の学生が本ガイドラインに沿ってソーシャルメディアを適正に使用するよう周知・教育を行っております。</p>	情報化推進G
		<p>自転車に関するマナーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐輪場のマナーを徹底させてほしい</li> <li>・自転車乗り入れ禁止区域をもっと周知してほしい</li> </ul>	<p>自転車乗り入れ禁止区域や自転車走行禁止区域は、過去に起こった事故の再発を防ぐため、学生のみなさんの安全を守るために設置しているものです。授業に遅れそうな時や急用がある時などもあるかもしれませんが、焦っている時ほど事故は起こりやすいものです。普段から時間に余裕を持って行動することを心掛け、各区域のルールは必ず守って自転車を使用するよう、引き続き注意喚起を行っていきます。</p> <p>また、駐輪場として指定された場所に、自転車等を規則正しく並べておくことは、通行者の邪魔になることを防ぐだけでなく、駐輪台数を増やしたり、駐輪場周辺の事故を予防したりすることにもつながります。学生のみなさんが気持ちよく駐輪場を利用できるよう、駐輪指導を続けていきます。</p>	学生生活支援G(学活)

区分	区分名	学生からの意見・要望	大学の対応・検討状況	担当
8-2.	規範・マナー・モラル等	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に関するマナーについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクをせず、大声で話す人がいる</li> <li>・食堂などの使用禁止の席に座っている人がいる</li> </ul>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、「新しい生活様式」が求められています。自分や自分の大切な人の健康を守るために、マスクの着用、人との距離の確保、食事時のマナー（マスクを外しているときのおしゃべりは控えめに）などを守り、県を超える移動や課外活動等については、その時の情勢を踏まえた上での確な判断を行うよう、引き続き注意喚起を行ってまいります。</p>	学生生活支援G(学活)
10-1.	大学の運営・方針	<p>QTAの給与が契約書と異なる額しか振り込まれていない</p>	<p>時給と異なる額が振り込まれている場合、所得税の源泉徴収（給与明細で確認できます）が想定されます。それ以外の理由で金額に疑義がある場合は、直ちに支援室へご相談ください。</p>	教育学系総括支援室
		<p>TA, QTAとして授業時間外に準備や片付けをしているが、授業時間分しか給与が発生していない</p>	<p>TAの予算配分については、新研究科となった後も旧教育学研究科時代とほぼ同額が措置され、各コース等（講座）に配分されています。その後、配分額の範囲内で補助が必要な授業についてTAを雇用し、勤務時間数に応じた給与を支払う流れになっています。</p> <p>給与の基となるTAの勤務時間管理は各担当教員に委任しておりますので、以下の内容を各コース等主任を通して改めて教員に各担当教員に周知しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務時間報告の際には、担当授業時間数が基本単位となる一方、実験・実習等における授業補助（事前・事後の準備や後片付けを含む）を含めた時間を勤務時間として報告すること。</li> <li>・TAとして授業時間外の活動を学生に依頼する場合は、その旨を説明し、当該学生の了承を得た上で勤務を依頼するとともに、当該時間数も勤務時間として報告すること。</li> <li>・TAの給与は予算配分額の範囲内での支払いであることを前提として、授業計画及びTA雇用計画を策定すること。</li> </ul>	教育学系総括支援室